

2024年度町田市教育委員会

第5回定例会会議録

- 1、開催日 2024年8月2日
- 2、開催場所 第二、三、四、五会議室
- 3、出席者 教 育 長 小 池 慎一郎
 委 員 後 藤 良 秀
 委 員 森 山 賢 一
 委 員 井 上 由 奈
 委 員 関 根 美 咲
- 4、署名者 教育長
 委 員
- 5、出席事務局職員 学校教育部長 石 坂 泰 弘
 生涯学習部長 白 川 直 美
 教育総務課長 高 田 正 人
 学務課長 高 野 徹
 保健給食課長 林 啓
 指導室長 大 山 聡
 (兼) 指導課長
 指導課担当課長 渡 辺 幹 博
 指導課担当課長 (統括指導主事) 末 原 久 志
 生涯学習総務課長 西久保 陽 子
 生涯学習センター長 川 瀬 康 二
 生涯学習センター担当課長 石 井 良 明
 図書館長 中 嶋 真
 図書館副館長 竹 川 裕 之
 図書館担当課長 本 郷 剛
 ◎中学校教科用図書調査協議会会長 高 橋 博 幸
 ◎中学校教科用図書調査協議会副会長 風 間 茂

◎中学校教科用図書調査協議会副会長	大石 眞 二
書 記	馬 目 拓 実
書 記	齊 藤 華 子
書 記	板 垣 有美子
書 記	中 里 典 子
速 記 士	帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

※ ◎：開会から午前11時05分まで出席した者

6、提出議案及び結果

議案第13号	2024年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2023年度分）報告書について	原 案 可 決
議案第14号	町田市中学校給食センター条例（案）について	原 案 可 決
議案第15号	町田市立図書館条例（案）について	原 案 可 決

7、傍聴者数 20名

8、議事の概要

午前9時55分

○教育総務課長 皆様、おはようございます。

会議が始まる前に、傍聴人の皆様にご案内と幾つかお願いがございます。

円滑な会議運営環境を確保するために、傍聴者の皆様は、教育長、係員の指示に従っていただきますようご協力をお願いいたします。

また、町田市教育委員会傍聴人規則第5条に基づき、会議中の撮影・録音は禁止といたします。

まず、本日の会議の進行ですが、議事日程の順番を変更いたしまして、報告事項（2）「2025年度（令和7年度）使用中学校教科用図書採択事務の経過及び展示会実施結果について」、報告事項（3）「町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告について」を先に行う予定でございます。この報告事項2件が終わりましたら、会議は一時、休憩いたしま

すので、ここでお帰りになることも可能となります。

なお、皆様にお渡ししております議事日程及び資料は閲覧用となっております。資料は本日中にホームページに掲載いたしますが、お持ち帰りいただくこともできます。その場合、資料の片面1枚につき10円の実費をご負担いただくこととなりますので、あらかじめよろしくお願いいたします。資料のお持ち帰りを希望する方は、お帰りの際に係員にお申し出ください。別室にご案内をいたします。持ち帰らない方は、資料と傍聴券を職員に渡していただくか、受付の資料回収箱に入れてお帰りください。

また、駐車場をご利用の方で、駐車券の無料処理がお済みでない方は、お帰りの際、職員にお申し出ください。

会議中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに切りかえてください。

ペットボトル等をお持ちの方は、適宜水分をお取りいただいで構いません。

会議の円滑な運営にご協力くださいますようお願いいたします。

午前10時00分開会

○**教育長** ただいまから町田市教育委員会第5回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

初めに、日程の一部変更をお願いいたします。本日は、日程第3、報告事項(2)「2025年度(令和7年度)使用中学校教科用図書採択事務の経過及び展示会実施結果について」、報告事項(3)「町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告について」を、日程第1、月間活動報告に先立ち、行いたいと思います。そして、調査協議会の報告が終わりましたら、日程第1、月間活動報告、日程第2、議案審議事項、日程第3、報告事項という流れで進行していきたいと思います。

なお、日程第2、議案審議事項のうち、議案第14号及び議案第15号につきましては、今後の市議会における議決案件であるため、非公開案件とさせていただき、日程第3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、関係者のみお残りいただいて審議をしたいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

それでは、報告事項(2)について、担当者から報告させていただきます。

○**指導課担当課長(統括指導主事)** それでは、私から、報告事項(2)「2025年度(令

和7年度)使用中学校教科用図書採択事務の経過及び展示会実施結果について」、ご説明いたします。

まず、2025年度使用中学校教科用図書採択事務の経過についてでございますが、5月2日の教育委員会第2回定例会におきまして、採択方針、選定基準を決定いたしました。採択方針につきましては、町田市教育委員会は、2025年度から2028年度まで使用する中学校教科用図書の採択に当たって、町田市立小・中学校教科用図書採択要綱にのっとり、町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告等を参考に、みずからの責任と権限において、町田市の生徒に最も適した教科用図書の採択を行うと定めております。

次に、中学校教科用図書調査協議会、学校調査研究並びに教科用図書展示会の経過説明をいたします。

5月13日に第1回中学校教科用図書調査協議会を開催いたしました。以後、協議会と略して説明をいたします。

第1回協議会では、協議会の委員16名に委嘱書を交付し、教育委員会から協議及び報告を依頼しました。また、採択事務日程、選定基準等についての説明、確認を行うとともに、協議会会長から中学校校長会へ、中学校教科用図書調査研究委員50名の推薦を依頼いたしました。

5月24日には、中学校教科用図書調査研究委員会を開催し、協議会会長から研究委員に委嘱書を交付いたしました。引き続き各教科の調査研究委員会で委員長・副委員長を選出し、調査研究の進め方、今後の日程等について打ち合わせをいたしました。

その後、教科ごとに調査研究委員会を開催し、6月21日には各調査研究委員長から調査研究報告が協議会会長宛てに提出されました。

学校調査研究につきましては、各中学校長宛てに学校調査研究報告書の提出を依頼し、5月14日に中学校を4グループに分け、教科用図書の見本本の回覧を開始いたしました。各中学校では、実際に教科書を使用して指導する教員が、全種目、全社について、選定基準ごとに調査研究を行い、報告書を作成いたしました。

6月24日には、各中学校から学校調査研究の報告書が協議会会長宛てに提出されております。

そして7月3日には第2回協議会を開催いたしました。ここでは各教科の調査研究委員会の委員長からの報告と教科書展示会における保護者・市民の意見について事務局から報告を行いました。そして調査研究委員会の報告、学校調査研究、保護者・市民の意見等を

総合的に検討して、協議会の報告書を作成し、第3回の協議会で検討・協議することを確認いたしました。

7月16日に第3回協議会を開催し、協議会としての報告書について検討を協議し、作成いたしました。

採択手続に関する経過説明は以上でございます。

次に、資料の3ページにあります教科用図書展示会につきましては、6月1日から7月2日まで教育センターと市役所の2カ所で行いました。資料は「2025年度使用教科用図書展示会実施結果」でございます。

展示会場にいらした市民等の方々の人数は、教育センター及び市役所を合わせて143名でございました。前回の中学校教科用図書採択事務を行いました2020年度の展示会は110名でしたので、33名の増加となっております。

そのうち、130件のご意見をいただいております。採択候補教科書に関する意見につきましては90件、教科書全般的なことや、教科用図書展示会のことに関するご意見は40件でございました。

展示会実施結果に関する説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますか。

○森山委員 2025年度の使用教科用図書の展示会の実施結果についてご報告いただきました。前回と比べて非常に多くの方に見えていただいたこと、それから、多くの意見が寄せられているというお話を伺いました。特にこの中で、来訪者からの意見として主なものを少し教えていただけますでしょうか。数は今日の説明で伺いましたが、加えて、中身についてお伝えいただければありがたいと思います。

○指導課担当課長（統括指導主事） 教科用図書展示会で寄せられたご意見ということですが、中学校教科用図書に関する主な意見といたしましては、特に社会科の歴史分野の教科書についてたくさんのご意見をいただいております。第二次世界大戦に関すること、また、公民的分野におきましては、日本国憲法に関するご意見などを多くいただいております。それ以外の教科ですが、理科に関しましては、教科書の大きさや見やすさ、重さに関するご意見、あと、特別な教科道徳では、評価についてのご意見等をいただいております。そのほか、教科書会社に関するご意見も幾つかいただいております。

以上でございます。

○教育長 そのほかに何かございますか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について報告させていただきます。

本日は、町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告に当たり、調査協議会の会長・副会長にご出席をいただいております。

教科書採択の公正性の確保のために、協議会の委員名等は、採択が終了するまでは非公開となっておりますので、あえてお名前は申し上げませんが、先生方にはお忙しい中をご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、報告事項（3）「町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告について」、お願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 それでは、調査協議会からの調査研究について報告をいたします。

報告書につきましては、先ほど説明がありましたとおり、6月から7月にかけて実施いたしました各教科用図書の調査研究委員会の報告、各学校の調査研究の報告、教科書展示会における保護者・市民の意見に基づいて作成をいたしました。

それでは、種目ごとに、会長・副会長から報告をいたします。

○中学校教科用図書調査協議会副会長 それでは、私からは、まず、国語の教科用図書についてご説明申し上げます。国語の教科用図書は4社ございます。

1 社目、東京書籍。

「てびき」で学習目標を振り返り、書き込み式のページでは既習内容を確認することができる。

「資料編」に掲載されている文学的作品が充実している。特に3年では発展的な学習に活用することのできる教材が充実している。

デジタルコンテンツが潤沢に用意されており、学びを深めることができる。

こういう報告がございました。

2 社目、三省堂でございます。

わかりやすく、見やすくするために、情報のまとまりを線で囲んだり、太字にしたりする工夫が見られ、図版や色彩が多用されている。

批判的な読みから課題作文につなげる単元に至るまで、主体的な学びから深い学びまで学習指導要領を意識した教材配置となっている。

単元ごとに「学びの道しるべ」が示され、見通しを持って主体的に学ぶことができる。

こういう特徴がございます。

3社目、教育出版。

SDGsのどの分野かがわかる記号も付されており、SDGsや情報・メディアを意識した教材が充実している。

定番教材に加え、漫画やアニメなどを扱った教材、短めの小説、女性の視点で書かれた教材などがバランスよく配されており、親しみやすく学ぶ工夫がある。

「言葉の自習室」では、表現に役立つ語彙一覧や作文テーマなども示されている。

これが特徴でございます。

4社目、光村図書出版。

学習の流れを示す「学びの扉」、ポイントを示す「学びのカギ」などで見通しを持って学習に取り組み、振り返りを行いやすくする工夫がされている。

SDGsやICTを意識した教材が多く掲載されている。また、「学びの扉」が横書きであるなど、タブレット学習を意識した内容となっている。

作文を書く際のヒントとなる「語彙ブック」など資料集が充実している。

こういう特徴がございます。

国語の教科書は以上でございます。

○**教育長** ただいまの国語の報告に関して、何かございましたらお願いいたします。

○**関根委員** 教科書における縦書きと横書きの書き方について質問させてください。新聞や小説本など、縦書き離れが進む現代の中で、日々の授業におきましては、横書きであるタブレット学習が定着しておりますが、実際、町田市の学校現場の先生や子どもたちは今どのような状況なのか教えてください。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** 生徒も教員も学校でタブレットに触れない日はほぼございません。横書きに触れる機会が圧倒的に多い状況にあります。各校で実施している朝読書の時間にも横書きの本を読んでいる生徒がおります。

以上です。

○**教育長** ほかにございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** それでは、続いて書写についてご報告申し上げます。書写も国語同様、4社から出版されております。

1社目、東京書籍。

振り返りやまとめの書写テストがある。書き込み式で学習の確認ができる。

巻末の「書写活用ブック」には、手紙やポスター、のし袋、入学願書の書き方など、実用的な書写について学ぶことができるほか、デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが充実しており、基礎から発展まで活用することができる。

2社目、三省堂。

なぞる形の書き込みで練習できる箇所があるほか、はがきの裏表を実物サイズで記入することのできるページが設けられている。

解説動画を見ることのできる二次元コードが单元ごと及び一覧表で掲載されているほか、補充教材にもアクセスして発展的な学習ができるようになっている。

巻末の書き初め手本には、自分で言葉を選んで書くことができる小さな手本が複数提示されている。

3社目、教育出版。

ワイド版で、見本や写真、イラストが大きく、見やすい。

体育祭や合唱コンクール、植物の観察記録など、学校行事での活動や教科横断的な学習活動など、学校生活を意識した学びができるよう工夫されている。

一部書き込みができる箇所がある。单元ごとに○や△で自己評価をする欄があり、みずからの学びを振り返ることができるようになっている。

4社目、光村図書出版。

見開きで掲載された手本が多く、毛筆の練習に適したサイズとなっている。

状況に応じた書き方や字体の例示、入学願書や宅配使用紙、メールやデジタル付箋など、日常生活に役立つ実用的な書式の例示がある。

取り外しができる「書写ブック」だけでなく、本編中にも直接書き込みができるようになっている。

手本や課題解決学習には二次元コードが掲載されており、書き方の動画や参考資料により発展的な学習に活用できる工夫がされている。

このような特徴がございます。

以上です。

○教育長 ただいまの書写の報告に関して何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 それでは、私から、社会科の地理分野、4社について説明させていただきます。

まず1社目、東京書籍。

「新しい社会地図」（東京書籍）と合わせて活用することで、より学習効果が期待できる。

中学校社会科3分野をそれぞれ結びつけ、個別最適な学びに活用する工夫がある。

小集団での参加型学習のコーナーで対話的な学びについて工夫がある。

続いて2社目、教育出版。

「関連」では、歴史や公民との関連箇所を示している。

小学校既習事項、中学校社会科3分野を結びつけ、深める工夫がされている。

二次元コードを利用し、個別最適な学びに活用する工夫がある。

3社目、帝国書院。

「中学校社会科地図」（帝国書院）と組み合わせて活用することで、より学習効果が期待できる。

小学校既習事項、中学校社会科3分野をそれぞれ結びつけ、さらに地図帳と関連させるためのマーク等の工夫がされている。

学習の見通し・振り返りを通して、学習者は、主体的・対話的で深い学び、指導者は、指導と評価の一体化を実現できるよう工夫がある。

二次元コードを利用し、個別最適な学びに活用する工夫がある。

4社目、日本文教出版。

社会科他分野との関連を示し、意欲・関心を引き出す配慮がある。

本文ページ右端にインデックスを設け、現在学習している位置を常に把握できる。

二次元コードにより画像や動画を容易に読み取ることができ、学習を深める工夫がある。

以上でございます。

○教育長 ただいまの社会科（地理的分野）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。

○後藤委員 これは後ほど説明のある地図のところと関連することですが、現在は地理的分野である地理の教科書と地図の会社が、4年前の説明では、やはり連携していたほうが活用しやすいというご意見もあったと思うのですが、改定された教科書では、地図帳と同じ出版社の地理の教科書のほうが学習しやすいのか、しにくいのか、あるいはその

ようなことが影響するののかということについて教えてください。

○中学校教科用図書調査協議会会長 学習しにくいとまでは言えませんが、同じ出版社の教科書掲載の地図は、ほぼ同様の地図を利用していることや、二次元コードから得られる情報も共通しているため、各資料の互換性が高く、学習効果が高いと考えられます。

どの出版社の教科書も地図帳の利用に触れているが、地図帳を発行していない2社の教科書は、地図帳の掲載が少ないです。地図帳の使い方のみ扱いについては、教育出版が2ページと3ページ、日本文教出版につきましては13ページと23ページの「スキルアップ」のコーナー。それから、地図帳の利用方法の「索引の使い方」の説明について、東京書籍と帝国書院は、例示、数字やアルファベットが地図帳と一致しております。日本文教出版は例示と地図帳の表示は違っております。教育出版は索引については掲載がございません。

以上でございます。

○教育長 それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 続きまして、社会（歴史的分野）について、9社から出ております。

まず1社目、東京書籍。

小学校既習事項については、「小学校マーク」が記してあります。他分野との関連を図った学習マークがあります。

「みんなでチャレンジ」、「スキル・アップ」では、主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる工夫や小グループの協働的な活動ができる工夫がある。

「問いの構造図」では、課題解決的な学習が行いやすいように工夫されております。

続いて2社目、教育出版。

小学校との接続、他分野との連携（カリキュラム・マネジメント）を意識した工夫がされています。

「読み解こう」では、資料を読み解く視点を問いの形で示し、生徒がみずから資料を活用する力を育ませる工夫があります。

「歴史の技」では、資料活用の方法や手順を身につけさせるなど、学習活動と身につけさせるべき力が具体的でわかりやすいです。

続いて3社目、帝国書院。

小学校既習事項、社会科の他分野との関連、地図帳（帝国書院）との関連がアイコンに

よって示されています。

二次元コードは、学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するコンテンツが豊富であり、個別最適な学びを支援する工夫があります。

コラムで八王子、町田などの養蚕、製糸業、交通（「絹の道」）を取り上げております。

4社目、山川出版社。

個々のイラストについてはかなり改善が行われ、見やすさが向上しています。

まとめや「Q」マークでの発問を通して、主体的・対話的で深い学びにつなげる工夫が見られます。

単元を見通した「問い」ではなく、各項目の初めに課題解決的な「問い」が示されています。

5社目、日本文教出版。

各単元で「節の問い」を設定するためのページがあったり、各ページに「歴史的な見方・考え方」を示したり、単元を見通した学習ができる工夫がされています。

生徒の話し合いなど、対話的な活動が効果的に取り入れられるものについては、「学び合い」マークがついています。

世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるページがわかりやすいです。

続いて6社目、自由社。

「もっと知りたい」コラムで興味・関心を引き出す工夫が見られます。

二次元コードは、表記（記載）されていない。

写真、グラフなどの資料よりも、文章によって説明をしているページが多い構成になっています。

7社目、育鵬社。

「歴史ズームイン」は、グループで調べたり話し合ったりして取り組む「TRY！」コーナーを設け、主体的・対話的で深い学びを促す工夫があります。

大単元ごとに「課題」が設定され、各項目にも「課題」が設定され、単元を見通した課題解決的な学習が行えるようになっています。

8社目、学び舎。

主体的な学習を深める本編の各テーマ「学習内容の構造化と焦点化」が設定されています。

二次元コードは、表記（記載）されていません。

歴史の場面を具体的に記述し、疑問や問いによって、歴史の事象や課題について多面的・多角的に考える力を培える工夫があります。

9社目、令和書籍。

各章で略年表を示したり、各項目で課題を設定したりして、単元を見通して学習に取り組む工夫がされております。

二次元コードは、表記（記載）されていません。

カラー版の資料は巻末にまとめられ、ページ内は白黒印刷の資料が掲載されております。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの社会（歴史的分野）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会会長** 続きまして、社会（公民的分野）についてです。6社でございます。

1社目、東京書籍。

巻頭ページに小学校からの社会科の学習について説明しています。

小学校既習事項については、「小学校マーク」が記してあります。

「みんなでチャレンジ」では、小グループの協働的な活動ができるように工夫され、対話的な授業を行うことができます。

地理、歴史の関連ページを、二次元コードを使って直接見ることができます。

2社目、教育出版。

「公民の窓」では、視点を変えたり、視野を広げたりして、多角的・多面的な見方を身につけさせるなど、学習活動と身につけるべき力が具体的に示されています。

小学校、高等学校、中学校社会科3分野をそれぞれ結びつけ、深めるための工夫がされています。

挿絵や写真が大きく見やすい。二次元コードで動画にアクセスすることができます。

3社目、帝国書院。

小学校既習事項、社会科3分野との関連や、地図帳（帝国書院）との関連による学びを深める工夫がされています。

二次元コードでもそれらの資料にアクセスすることができます。

特設ページで対話的な深い学びをテーマにしており、町田市の行政を関連させて探究学

習を行うことができます。

続いて4社目、日本文教出版。

小学校社会科、地理的分野、歴史的分野との関連を示すページを設けています。

平易な文章やイラストを使用し、生徒の意欲や関心を引き出す配慮がされています。

導入から基礎・基本的な内容、発展的な学習、社会の課題を考える内容と全体の構成が見通しやすいです。

続いて5社目、自由社。

小学校や各分野との関連を説明している記述は見当たりません。

「もっと知りたい」というコラムのページが設定されており、発展的な内容が構成されております。

二次元コードによるデジタルコンテンツは、表記（記載）されておられません。

続いて6社目、育鵬社。

小学校既習事項の関連内容や、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容を紹介し、小・中の系統性と3分野の関連性を高める工夫があります。

本文見開きページでは、各時間の終わりに「確認」と「探究」を設定し、思考力・判断力・表現力を育む言語活動を工夫しております。

各章冒頭に掲載した二次元コードを記載し、学習内容に関する動画が視聴でき、より理解を深め、自学を支援する工夫がございます。

以上でございます。

○教育長 ただいまの社会（公民的分野）に関して何かございましたらお願いいたします。

○関根委員 公民におきまして、町田市の行政を関連させて探究学習を行うことは、子どもたちにとって、自分たちの身近な地方公共団体の仕事や仕組みを知る上で、とても効果的であると思います。今の中学生は、学校でどんな学び方をしているのかを知りたいです。また、今現在、行政として町田市政のことが詳しくわかる資料などはありますか。それはどのようなものがありますか。教えてください。

○中学校教科用図書調査協議会会長 どの出版社も、第3節「地方自治」では、地方公共団体、地方自治体について学習し、町田市の行政について理解を深めております。生徒は町田市行政等について調べ学習を行う場合は、町田市ホームページがアクセスしやすく、情報が得やすいのではないかと思います。また、市のホームページでも紹介されている「広報まちだ」や「町田市議会だより」も参考にできます。さらに、町田市の刊行物を含

む資料は、図書館指導員、司書に相談して入手が可能です。

以上でございます。

○**教育長** そのほかに何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会会長** それでは、地図についてご報告いたします。2社ございます。

まず1社目、東京書籍。

二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツ「My Globe」が、3D地球儀や地球儀の回転など、個別最適な学びに有効でございます。

東京書籍の地理教科書と統計資料などを分けて記述されていて、合わせて使うことで理解を深めることができます。

東京書籍の歴史的分野及び公民的分野の教科書と連携しているページを新設しています。

続いて2社目、帝国書院。

地理的分野を中心に、帝国書院の社会科3分野の教科書の各所に配されている地図帳活用アイコンに対応した地図資料が豊富であります。

二次元コードによるデジタルコンテンツが豊富であり、幅広い資料の活用が可能で、個別最適な学びにも活用できます。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの地図の報告に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** 数学について、7社ございます。

東京書籍。

各章の導入では、身の回りのものを題材にし、写真を使用して興味を持ちやすい工夫がされ、学習意欲や関心を引き出す配慮がある。

昨年度までに既習した単元の確認ページがあり、系統性を意識している。

二次元コードを開くと、問題とレベルごとの解答があり、理解しやすい工夫がある。

課題発見から、学ぶ目標、課題解決に向けてわかりやすい流れになっている。例題の解説も詳しく、家庭学習もしやすい。

続いて、大日本図書。

各単元の導入部分では、幾つかの問題が考えやすい形、身近なものであったり選択解法であったりで出されている。

二次元コードを開くと、理解しやすい工夫があるが、掲載は少ない。

各項目にめあてや考え方などが書かれていて、考え方などを学ぶ工夫がある。

続いて、学校図書。

各単元の導入部分とまとめ部分で、問題提起から活用を身近な生活にかかわる問題で示している。

各単元の章末の問題が多く、演習する問題を選ばなければならない。

教科書の生徒同士が対話形式で疑問を投げかけているため、表現がわかりやすい。

写真や挿絵は、説明とともに添えられているため、若干小さく感じる。

二次元コードで理解しやすい情報の工夫がある。

続いて、教育出版。

仕事の中での数学の役割、発展的な内容など、学習意欲を引き出す配慮がされている。

デジタルコンテンツは必要最低限である。

目次には、既習事項が書き出されておき、つながりを意識しやすい工夫がある。

続いて、新興出版社啓林館。

「学習のとびら」など、身の回りの題材が取り上げられ、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる内容となっている。

デジタルコンテンツが豊富である。

適宜「ふりかえり」が配置され、どの生徒でも学習しやすい。

続いて、数研出版。

各単元の導入部分とまとめ部分で、問題提起から活用を身近な生活にかかわる問題で示している。

各単元に入る前に、「ふりかえり」という昨年度までに既習した単元の確認ページがあり、系統性を意識している。

写真や挿絵、図形が大きく見やすい。

デジタルコンテンツも豊富である。

続いて、日本文教出版。

独自のアイコンやその単元に関する興味深いコラムなどの配慮がある。

色を多用し、また図や挿絵も、二次元コードも含めてわかりやすい。

振り返りシートや「考えよう」、「話し合おう」などの工夫がある。

以上となります。

○**教育長** ただいまの数学の報告に関して何かございましたらお願いいたします。ー一よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** 理科についてご説明申し上げます。5社ございます。

東京書籍。

目標及び内容がわかりやすく示されている。内容を漏れなく扱う工夫がされていて、生徒の関心を引き出す工夫がされている。2学年の巻末には付録がついている。

UDフォントを採用しており、教科書のサイズはA B版（ワイド版）で、写真は数多く掲載されている。

単元末に活用問題が十分あり、発展問題にも取り組める。読み物も興味を引く。

続いて、大日本図書。

各単元の始まりに章の学習内容が明記されていて、対話的で深い学びに導くよう工夫されている。

UDフォントを採用しており、教科書のサイズはB版で、写真は数多く掲載されているが、一つ一つの写真は小さい。

単元末に活用問題が十分あるが、二次元コードによるコンテンツが少ない。

続いて、学校図書。

単元の最初に、どのように学ぶのか1ページにまとめてあり、示された内容を漏れなく取り扱う工夫がされている。

UDフォントを採用しており、教科書のサイズはA B版（ワイド版）で、写真は教科書の下の部分に数多く掲載されている。

学習のまとめのページでは、基本問題が多く取り上げられている。

続いて、教育出版。

単元ごとに明確な目標が設定されている。示された内容を漏れなく取り扱う工夫がされている。

UDフォントを採用しており、新出用語には太字の文字に色を変えて強調している。教科書のサイズはA B版（ワイド版）で、写真は数多く掲載されている。

章末問題が充実し、基本から応用まで掲載している。

続いて、新興出版社啓林館。

目標及び内容がわかりやすく示されている。学習指導要領に沿って、思考力・判断力を身につける内容になっている。全学年で充実した付録がある。

メディア・ユニバーサル・デザインを採用しており、落ちついて教科書を見ることができ。教科書のサイズはA B版で、写真は見開きの外側にまとめてある。

単元末に活用問題が十分あり、発展問題にも取り組める。課題に迫れる探究のコーナーがあり、深く学習を進めることができる。読み物も興味を引く。

以上です。

○教育長 ただいまの理科の報告に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 それでは、音楽（一般）についてご報告させていただきます。2社ございます。

まず1社目、教育出版。

表紙裏から2ページ分、指揮者や和楽器演奏者、ピアニストについて等の記載があり、子どもたちの学習意欲や関心を引き出す配慮があります。

また、1ページ分楽譜を紹介し、作者の思いに触れさせている。

題材ごとに、タイトル下に目標が細かく記載されていて、単元ごとに何を学習したらよいかを把握し、効果的に進めることができる。

用語などのページがとじ込みになっている。活動するときの参考にする際、3ページ分のスペースが必要になる。

続いて、2社目、教育芸術社。

表紙裏から4ページ分、生徒にとって身近な歌手やピアニストを紹介したり、伝統文化や世界の音楽の内容など幅広く記載しており、子どもたちの学習意欲や関心を引き出す配慮がある。

題材ごとに、タイトル下に目標、右側に発問、左下にヒントの記載があり、課題解決に向けた学習が効果的に進められるようになっている。

「音楽の約束」として、音符や記号等の表記が見開きで記載されているため、活動するときの参考にする際、2ページ分のスペースを要する。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの音楽（一般）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。
――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会会長** 音楽（器楽合奏）について。2社ございます。
教育出版。

基本的な内容を十分扱える内容である。目次に発展のページがわかりやすく記載されていて、段階を踏んで無理なく取り組むことができる。後方には中学生が親しみやすい曲を中心に音楽が練習曲として配置されている。二次元コードが記載されている曲が少ない。

目次から学習内容が見通せる配慮がされている。

リコーダーの運指表、ギターのコード表がとじ込みになっているので、活動するときの参考にする際、3ページ分のスペースを要する。

続いて2社目、教育芸術社。

基本的な内容から発展的な内容に構成されている。各楽器のアンサンブル曲を後方に掲載し、中学生が親しみやすい曲を中心に練習曲として配置されている。また、その多くに二次元コードが右下に掲載されていて、伴奏などを確認できる。

目次から学習内容が見通せる配慮がされている。また、次のページには学ぶ内容の一覧表があり、何を学ぶのかがわかるよう配慮されている。

リコーダーの運指表、ギターのコード表が見開きで記載されているため、活動するときの参考にする際、2ページ分のスペースを要する。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの音楽（器楽合奏）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。

○**後藤委員** 先ほどの地図と地理にかかわるような内容になるのですけれども、「音楽（器楽合奏）」と「音楽（一般）」のそれぞれの教科書が、現在は同じ出版社のものを関連づけてという視点も入れて使っているわけですが、この2種については、やはり同様に、同じ出版社のほうが活用しやすいのかどうかという点についてご説明をお願いします。

○**中学校教科用図書調査協議会会長** 同じ発行者がよいと思われれます。内容にさほど差異はありませんが、レイアウトなどの違いにより、指導者側の混乱が考えられます。また、配慮を要する生徒にとっては、同じものがよいと考えております。

以上でございます。

○**教育長** ほかに何かございますか。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会会長** それでは、続いて美術について。3社でございます。

まず1社目、開隆堂出版です。

表紙の凹凸加工は特別感があり、目を引きます。

案内役のキャラクターやアイコン、題材ページの入り口の明確なサインやワークシートも充実して、学習活動がわかりやすいです。

二次元コードを用いて、動画や映像資料を提供しております。

続いて2社目、光村図書出版。

書き込みツールと高精細画像にアクセスできます。

中学生の制作の様子が掲載され、生徒の発想と構想を促すように構成されています。基本的な内容を別冊資料として用意しています。

質感の異なる紙（和紙）を使用している。

二次元コードから視聴できる資料が充実しています。

続いて3社目、日本文教出版。

生徒の成長（13歳・14歳・15歳）に大きな役割を果たす3分冊構成になっています。

表現題材の全てに「表現のヒント」が設置され、発想・構想を促すような構成になっています。

社会問題や地域文化に関する事項を多く取り上げ、美術の学習と社会のつながりを示している。

二次元コードからデジタルコンテンツを活用でき、写真や作品も大きく見やすく、インパクトがある掲載になっております。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの美術の報告に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** 続きまして、保健体育の教科書についてご説明申し上げます。保健体育は4社でございます。

1社目、東京書籍。

巻末に健康や安全に関するまとめが記載されており、生徒が個別最適に学べる工夫がなされている。

単元の要所に二次元コードがついており、視覚的にわかりやすく、生徒の多様性への効果が期待できる。

2社目、大日本図書。

単元ごとに「活用して深めよう」、章ごとに「学びを活かそう」があり、話し合い活動、協働的な学びにつなげやすい工夫がある。

写真や図が見やすく設定されているが、2019年度以前のデータが多く、二次元コードの数も少ない。

3社目、大修館書店。

コラムや体育（保健）の窓などに指導内容に関する内容を掲載していて、生徒の学習に向かう姿勢を引き出し、個別最適な学びへの配慮が見られる。

生徒の多様性に向けての配慮はおおむねなされ、二次元コードの数も十分である。

4社目、学研教育みらい。

単元、教材について、系統性を考えて配列しており、生徒の成長段階に応じた話し合い活動へ持っていくことが期待できる。

各単元に章末問題があり、二次元コードの数も適正と思われ、学習のまとめや理解度を把握することが容易である。

以上でございます。

○教育長 ただいまの保健体育の報告に関して何かございましたらお願いいたします。ーよろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 続きまして、技術・家庭科（技術分野）についてご報告いたします。3社ございます。

まず1社目、東京書籍。

重要語句などは、わかりやすく記載されている。また、道具の使い方が端的に説明されている。

二次元コードで端的に説明されている部分を動画によって補足されているため、わかりやすい。

各編のまとめとして学んだことを深められる問題文がある。印刷できる解答用紙はない。

未来のテクノロジーを考えるまとめレポートもある。

続いて2社目、教育図書。

重要語句の表記が図の表題等になっている箇所があるため、生徒に理解させるための工夫が必要である。

材料と加工の技術のページ数が少なく、内容が簡略化されている。

その点を補うための「スキルアシスト」という別冊があり、特定の作業等におけるポイントが確認しやすくなっている。

各編のまとめとして学んだことを深められる問題文がある。二次元コードから印刷できる解答用紙はない。

続いて3社目、開隆堂出版。

イラストが簡潔かつ内容が濃く、見やすい。

二次元コードを利用したサイトもわかりやすい。

また、サイト内の動画コンテンツが多岐にわたり、1つの作業におけるカメラ視点がさまざまある。

各章でページが色分けされ、見やすい。

各編のまとめとして学んだことを深められる問題文があり、解答用紙は二次元コードから読み取り、印刷できるようになっている。

以上でございます。

○教育長 ただいまの技術・家庭（技術分野）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会会長 続きまして、技術・家庭科（家庭分野）。3社ございます。

1社目、東京書籍。

学習指導要領に示されたA（1）アをガイダンスとして位置づけ、巻頭に置き、そのほかのAの内容を巻末に置く構成となっている。

デジタルコンテンツがとても充実しており、動画やワークシートなど扱いやすい。

各編途中に「プロに聞こう」があり、キャリア教育や社会理解も深められる。関連した動画が幾つもある。

続いて2社目、教育図書。

学習指導要領に示された各内容の各項目を指導事項のア・イの順に配列し、A・B・Cの流れにも配慮された構成になっている。

二次元コードは、動画やワークシート、レポートの書式もあり、活用することができる。各編末の「先輩に聞こう」のコーナーでは、具体的な事例を取り入れることで、キャリア教育や社会理解も深められるようになっている。関連した動画はない。

3社目、開隆堂出版。

学習指導要領に示された各内容の各項目を指導事項のア・イの順に配列し、内容の取り扱いに配慮し、A・B・Cの流れにも配慮された構成になっている。

実物大の写真などがあり、理解しやすく、動画や補助資料も見ることができる。

各編末の「先輩からのエール」が理解しやすく、キャリア教育や社会理解も深められ、動画が充実している。

以上でございます。

○教育長 ただいまの技術・家庭（家庭分野）の報告に関して何かございましたらお願いいたします。ーよろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○中学校教科用図書調査協議会副会長 続いて、英語についてご報告申し上げます。英語は6社出ております。

1社目、東京書籍。

国際理解、多様性、SDGs、ユニバーサルデザイン等、時代に合った幅広い話題が取り上げられている。

各ユニットの後半に「Read and Think」があり、3年間を通じてリーディングの文章量としてはかなり豊富である。

二次元コードやデジタル教科書では、紙の教科書の本文では足りない情報が検索でき、自己表現活動をサポートできるようになっている。

2社目、開隆堂出版。

各プログラムの初めが、新出文法が含まれる4～6コマの漫画となっており、生徒にとっては新出文法の習得の見通しが立てやすい。

各プログラムの後に「Review & Retell」があり、絵や写真を見ながら、既習事項を生徒自身の言葉で説明する活動が設けられている。英語で話す力（やりとり）を向上させる活動が各プログラム後に行うことができる。

二次元コード、デジタル教科書は、必要十分な機能が備わっている。主に正しい音声の理解を深められる。

3社目、三省堂。

付録が大変豊富で、授業を担当する教員の裁量によっては、生徒は非常に多くの英文を読む機会が得られる。

イラスト、写真が豊富に使用されており、質も大変よい印象がある。学習意欲の向上と英文の理解につながる生徒もいると考えられる。

二次元コード、デジタル教科書の機能が充実している。特に二次元コードはイラストを見て英文をつくる練習があり、家庭学習での復習に最適である。

4社目、教育出版。

構成は「本文」、「キーセンテンス」、「エクササイズ」、「本文のまとめ」、「文法のまとめ」が主となっており、オーソドックスでシンプルである。生徒にとって、授業中にどの部分に注目すればよいのかがわかりやすい。

リーディングの文章量としては比較的少なめである。写真やイラストも必要最低限の量でまとめている。

二次元コードの文法説明動画は家庭での復習に最適で、デジタル教科書の録音機能では自身の発音チェックに役立ち、個別最適な学びを行うことができる。

5社目、光村図書出版。

写真やイラストは必要最低限の量でまとめており、リーディングの文章量は標準的である。また、レイアウトがオーソドックスであり、視覚的に英文も読みやすいと思われる。

巻末に「Story Retelling」があり、イラストを見ながら既習事項を自分の言葉で説明する活動ができ、表現力を高められる。

二次元コードやデジタル教科書では、音声や映像のほか、モデル映像やスピーキングテストの問題があり、学習者が関心を高め、一層学習を深められる資料が多い。

6社目、新興出版社啓林館。

構成もレイアウトもオーソドックスでシンプルであり、多くの生徒にとって読みやすいと思われる。

中学校で学ぶべき単語は網羅されており、一方、比較的難しい単語は多くない印象がある。リーディングの文章量としては標準的である。

二次元コードでは写真やイラストを表示しながら、「Listen」や本文などの音声に触れ

られる。

以上でございます。

○**教育長** ただいまの英語の報告に関して何かございましたらお願いいたします。

○**関根委員** 町田市教育プランにもございます「えいごのまちだ」を推進していくためにも、今の町田市の子どもたちに必要な英語力のポイントはどんな部分でしょうか。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** G T E Cの全国平均値では、2022年度がプラス8.1ポイント、2023年度がマイナス8.3ポイントでありました。このように年度により差はございますが、全国平均とほぼ同様と捉えた場合、基礎・基本を固めることが重要であり、生徒が興味を持って学習に取り組むことができるかがポイントであります。

以上です。

○**教育長** ほかに何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、続いてご報告をお願いいたします。

○**中学校教科用図書調査協議会副会長** 道徳は7社ございます。

東京書籍。

身近な題材を扱った教材や、防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材が充実している。

二次元コードはNHK for Schoolの動画を教材化し、全学年に掲載してある。ストーリーを動画で確認することで、文章の理解が苦手な生徒も理解しやすい。

続いて、教育出版。

誰にでもわかりやすい発問構成で、生徒の「考えたい」、「話し合いたい」を引き出し、主体的・対話的で深い学びを通して協働的学びが可能である。

二次元コード「まなびリンク」は、授業や家庭学習に役立つ動画や写真、図版、ワークシートなど、充実したデジタルコンテンツが用意されている。生徒の主体的な学びや個別最適な学びを実現しやすい。

続いて、光村図書出版。

学習活動の中で、友達と話し合い、問い合いをしながら学びを深めるといった「問う」ことが重要視されている。

生徒がどのように何を考えていけばよいのか、道筋がわかるように配慮されていて、生徒みずからが問いを立てて取り組み、その問いに対する答えを探究しやすい。したがって、問題解決的な思考が養われることが期待できる。

二次元コードに聞きやすい教材の朗読が収録されている。

続いて、日本文教出版。

別冊ノートが付属されている。1教材1ページで構成されていて、学んだことを自由に記述できるなど個別最適な学びに適している。

二次元コードは、全ての教材・コラムにある。全教材に、朗読音声、ワークシート、シンキングツール、心情メーターを取り入れ、さらに多数の教材に動画、画像、登場人物の略歴などの参考資料、外部リンクなどがあり、充実している。

続いて、学研教育みらい。

「深めよう」により、生徒一人ひとりが各教材から課題やテーマを見つけ、自分の中で考えを深めるなど個別最適な学習の一助となり、同時に、周りの人とかかわりながら協働的な学びを深めることができる。

二次元コードを読み取ると、関連するデジタル教材にアクセスすることが可能である。動画や写真、音声、ワークシートなどを用いて、深い学びができる。

続いて、あかつき教育図書。

「自分との対話」では、考えたことや学んだことを振り返られるような工夫が見られ、個別最適な学習を実践しやすい。

二次元コードによる教材に関する資料やワークシート、写真、登場人物の動画などは、生徒の関心を高めると同時に、指導者にとって大変に活用しやすい。

続いて、日本教科書。

「ウェルビーイングカード」の付属が、本書の大きな特色である。

同カードにより、心情や意見、考えなどを、他者に視覚的に表現でき、協働的学習がしやすい。

二次元コードをつけて動画をリンクさせたり、漫画の教材を掲載したりして、ビジュアルを多く取り入れている。

以上となります。

○教育長 ただいまの道德の報告に関して何かございましたらお願いいたします。ーーよろしいでしょうか。

そのほか、全般を含めていただいて結構でございますので、質問などありましたらお願いいたします。

○井上委員 デジタルコンテンツが非常に充実してきていますが、学校ではどのぐらい活

用されていますでしょうか。教えてください。

○中学校教科用図書調査協議会会長 学校では各教科においてデジタルコンテンツ、つまり、画像とか動画、そういったものを使っているケースが非常に多くございます。このことは、動画や画像で視覚化を図ることによって、教育にとっても効果があると捉えております。

以上でございます。

○教育長 ほかにございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告を終了いたします。

会長・副会長には、5月から長期間にわたって調査協議会の中心となって報告書の作成をしていただきました。そして、本日はご多用のところ、教育委員会定例会にご出席をいただき、ご報告をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。本日の報告を参考にさせていただきながら、みずからの責任において、教科書採択に臨みたいと思っております。

休憩いたします。

午前11時05分休憩

○教育総務課長 以上で報告事項（3）「町田市立中学校教科用図書調査協議会の報告について」は終了となります。

これでお帰りになる方のうち、資料のお持ち帰りを希望される方は、職員に傍聴券をお渡しの上、お申し出ください。別室にご案内をいたします。

資料をお持ち帰りされない方は、資料と傍聴券を職員に渡していただくか、資料回収箱に入れてお帰りください。

駐車場をご利用の方で、駐車券の無料処理がお済みでない方は、お帰りの際に、職員にお申し出ください。

また、この後も引き続き傍聴される方は、ご着席いただいたまま、しばらくお待ちください。この後の定例会の資料を職員が配布いたします。こちらの資料も本日中にホームページに掲載いたしますが、お持ち帰りされる場合は有料となります。あらかじめご了承ください。

午前11時07分再開

○教育長 再開いたします。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず、私からご報告をさせていただきます。

お手元の「主な活動状況」をご覧ください。

私からは、7月20日に行われました文学館来館者100万人達成セレモニーについて報告させていただきます。

町田市民文学館は、2006年10月27日の「文字・活字文化の日」に開館し、17年が経過しました。新型コロナの影響で2020年には来館者が3万人まで減少しましたが、翌年には回復し、今年ついに来館者100万人を達成することができました。当日はセレモニーとともに、「チリとチリリーどいかや絵本の世界展」のオープニングイベントが開催され、暑い日でしたが、とても多くの来館者に来ていただきました。今回の100万人達成を通過点として、学びのきっかけとなる場所、地域の皆様のコミュニケーションの拠点として、皆様に愛され続ける施設であることを目指してまいります。

その他の主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

次に、委員の皆様からのご報告をお願いいたします。

○後藤委員 7月は中学生の活躍する姿を数多く見ることができました。

7月20日、中学校科学教育センター開講式では、自然や科学への興味・関心を持ち、学校の授業を超えた観察、実験、先進的な科学に触れ合うことを楽しみにしているという中学生の姿を見ることができました。改めて現在検討されているSTEAM教育の視点を取り入れた小・中科学教育センターの内容に大いに期待しているところです。

7月23日ですが、中学校連合音楽会の午前の部で9つの中学校の吹奏楽部の演奏を聞きました。どの学校も演奏がレベルアップしていて、生徒たちは緊張しながらも堂々と演奏しているという姿が大変印象に残りました。

また、7月25日にあった中学生フォーラムでは、各校の代表生徒が校内ルールのあり

方について自校の実態を紹介したり、よりよいあり方についてディスカッションしたりして、生徒の主体性、リーダー性のある姿が大変印象に残りました。

最後に、7月20日に、ペスカドーラとエプソン販売の共催する環境教育イベントを見てまいりました。「地球温暖化の真実と私たちの未来」と題し、30組ほどの小学生親子を対象に、地球温暖化の実態を知り、自分たちでできることを考えるという環境学習の場でした。学校でも環境教育の授業を行えるわけですがけれども、親子で一緒に学び、考える機会として大変意義のある活動だと思いました。子どもたちが、学校に限らず、さまざまな場や機会にさまざまな人々と触れ合って学ぶことができる工夫の1つであると思います。

私からは以上です。

○森山委員 私からは、7月25日に、ちょうどここの町田市庁舎で、2024年度の町田市中生フォーラムに出席いたしましたので、ご報告したいと思います。テーマは「魅力ある学校づくりのための校内ルールのあり方」ということで、非常にアップツーデートな内容だったと思います。

特にグループで、事前課題をもとに、自校で行っている校内ルールの見直しの取り組みを伝え合うという非常に活発な議論がなされておりました。ルールの見直しを行う中での課題、あるいは困っていることをグループのメンバーと共有する。そして、その解決策を検討していきながら、校内ルールを見直す際に、大切にしたいことを考えるという流れで進んでいきました。各学校で行っている校内ルールを見直すための取り組みをもとに、協議、そして検討、最終的には発表を行うという大変活発な生徒たちの姿を拝見することができました。

学習指導要領に、「互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視する」という文言があります。まさに今回のフォーラムに参加して、生徒たちの議論、そして発表の姿を見て、このことの1つの重要なイベントであると思いました。今後は、より多くの生徒が、こういう形のイベントに参加できるように、発展的に検討していただくとよろしいのではないかと思います。

以上です。

○井上委員 今年は過去120年間で一番暑い7月となったようですが、子どもたちは元気いっぱいの夏休みを満喫していることと思います。

本日、私からは3点お話しいたします。

まず、7月8日の三輪小学校への市教委訪問についてです。明るく素直で伸び伸びとし

た子どもたちが印象的でした。家庭や地域に大切に育てられていることが分かります。これから子どもたちの主体性を伸ばすに当たって、先生方にも主体性を持って取り組んでもらうような工夫を、荻間校長先生の指揮のもと、進められていました。若手が多いながら、温かく、笑い声の響く職員室の中、とてもいい雰囲気づくりをされているように感じました。

次に、7月12日に行われた鶴川第四小学校への市教委訪問についてです。すれ違おうと挨拶をしてくれて、落ちついている様子を感じ取れました。ICTに強い先生方を中心に、効果的にChromebookを取り入れており、小6のスライドでの発表は中学生と同じぐらいのレベルの高いものでした。また、知的と情緒の特別支援学級があり、苦手をカバーするというより、得意を引き出す授業内容となっており、集中して取り組む姿が印象的でした。

最後に、7月25日に行われた中学生フォーラムについてです。今年度は「魅力ある学校づくりのための校内ルールのあり方」について、情報共有したり、見直す際に大切にしたいことを話し合ってもらいました。「全校生徒への周知方法を教えてください」とか、「これによって改善は見られましたか」など、相手に興味・関心を持たないとできない質問がバンバン飛び交い、自分たちの学校に生かすために、より詳しく知りたいという真剣な気持ちで質問し合う熱いグループワークとなり、時間が足りず、「もっと話したい」、「もっと聞きたかった」という声もあちらこちらで聞かれました。各校2名ずつの参加でしたが、ここで完結するのはもったいないくらい活発に意見が出たり、それぞれの学校のよさが際立つシーンが幾つもあったので、今後もっとたくさんの方にこの中学生フォーラムのすばらしさを知ってもらえたらいいなと感じました。

私からは以上です。

○関根委員 私からは活動の中から幾つかご報告をさせていただきます。

7月20日に山崎中学校で行われました中学校科学教育センター開講式にお伺いいたしました。今年で62回を迎える歴史あるこの取り組みは、校長会や理科専門の教員、外部指導者が、理科の実験や作業を指導してくださる形で運営されます。運営委員会の先生の問いかけに、積極的に発言する生徒たちの言葉はとても頼もしく感じました。年間で9回開講される魅力的な講座を、一人ひとりが好奇心を持って、科学の世界を存分に楽しんでもらいたいと思います。

同じくその日に、町田市立総合体育館で行われたペスカドーラ町田とエプソンのコラボレーション企画である環境教育イベントにお伺いしてまいりました。人類の存続にかかわ

る社会課題の1つである気候変動対策についての講義を、参加者の親子60名を対象に、ペスカドーラの選手やエプソンの社員の方々も参加して行われました。地球温暖化とそれがもたらす危機を理解し、意識することで、自分たちができることに気づき、行動するきっかけになるような、とてもよい内容でした。

特に親子でイベントに参加することで、この問題について、家庭の中で親子が話し合い、日々の生活に生かしていくという流れができます。この素晴らしい取り組みを、ぜひとも町田市の小・中学校の子どもたちにも広めていくために、今後、校長会やVCの組織を通してご紹介してまいりたいと思います。

7月23日には、2024年度町田市立中学校夏の連合音楽会で市民ホールにお伺いいたしました。毎年ながら、各学校とも選曲に工夫が見られる音楽会ですが、今年も自分の学校の持ち味が十分発揮できるような曲を選び、各校の生徒が気持ちを1つにして、楽しみながら演奏する様子にとっても感動いたしました。鑑賞マナーもすばらしく、ほかの学校の演奏を真剣に聞き入り、時には手拍子で音楽会を盛り上げていました。子どもたちがこの音楽会を通して、さらに自分の感性を磨き、音楽とかかわりながら人生をより豊かにする力を育むことを心から願っております。

7月24日には、令和6年度東京都市教育長会研修会に参加してまいりました。観光未来プランナーの丁野朗氏をお迎えし、「学校教育を通じた地域の歴史文化による地域の活性化」として、「地域の歴史文化をどう活かすか」、「選ばれる地域には物語がある」という研修テーマでお話をお伺いしました。

まず、地域にはなぜ物語が必要なのか。そして、日本遺産などを例に上げ、ストーリーを持たせてブランド化すること、そしてさらに、人を引き込ませるストーリーこそが大事だということをお聞きしました。また、最後に、地域の物語をどう生かしていくのか、そのためには何をすればよいのかについて具体例を出し、文化資源の活用は地域の総合力が必要であるということ学びました。今回の研修で、我が町田市に置きかえながら考えることができるとてもよい機会となりました。

7月25日には中学生フォーラムを見学させていただきました。今年で3回目を迎えるこの取り組みでは、毎年、町田市の中学生在自分たちで主体的に考え、発信し、豊かな心を醸成していくことを目的に、とても意義のある話し合いを行っています。

今年度は「魅力ある学校づくりのための校内ルールのあり方について」というテーマでした。中学生による司会進行で、個人が1人1台のChromebookを持参し、3～4校のグ

グループで、自校が行っている校内ルールについての取り組みを伝え、意見を求め合う形で、グループを変えて、2回回して話し合いが行われました。今自分たちに何ができるか。各学校が独自の視点で行っている取り組みを聞いて、刺激し合い、活発な意見交換をしたり、時には拍手が起こったりしながら、参加生徒がそれぞれの思いを存分に語り合っていたと思います。

最後に校内ルールを見直す際に大切にしたいことについて各グループで発表し合い、どれも深く考え、練られたすばらしいまとめとなりました。参加した中学生は、「他校で行っていることを詳しく知れたり、お互いの制服を見たりするのも初めてなので、とっても新鮮だった」、「このような機会が年に何回かあるといいと思う」という感想も聞くことができました。この有意義な活動を今後もぜひとも続けていただきたいと思います。

私からは以上です。

○教育長 私並びに委員の皆様のご報告につきまして、何かご質問などありましたらお願いいたします。

また、そのほかに事務局も含めて報告はよろしいでしょうか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第13号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明いたします。

○学校教育部長 議案第13号「2024年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2023年度分）報告書について」、ご説明いたします。

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図った上で、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成するものでございます。

それでは、報告書の概要を説明させていただきます。

報告書の冊子5ページをご覧ください。2「町田市教育委員会の点検及び評価の実施」です。（1）及び（2）に記載しておりますように、点検及び評価は2019年度に策定した町田市教育プランの重点事業を対象に実施するものであり、今回の報告では、事業ごとの2023年度の達成状況や課題等について示しております。

次に、6ページから7ページをご覧ください。こちらのページには教育プランの体系図を記載しております。点検評価の対象となる事業は町田市教育プランの重点事業でございます。

ます。

6 ページ上の基本方針Ⅰの施策1「確かな学力を育成する」から、7 ページの基本方針Ⅲ、施策1「ともに育つ学校と地域の協働体制を確立する」までを学校教育部が所管し、本文では11 ページから31 ページに記載しております。

基本方針Ⅲの施策2「家庭教育を支える環境を整備する」から、基本方針Ⅳの施策4「学習を支える環境づくりを進める」までを生涯学習部が所管し、32 ページから46 ページに記載しております。

2022 年度末までに完了した事業が8 事業ございまして、今回は36 事業の点検評価を行いました。

次に、点検評価の方法でございますが、7 ページ下段の(3)「点検及び評価の方法」の②に記載しておりますように、点検及び評価に当たり、6 月 26 日に学識経験者・保護者の代表の方から意見をいただきました。本日の報告書はそのご意見を反映したものでございます。

また、助言者のお名前は8 ページ上段に、ご助言の内容は58 ページから61 ページにそれぞれ記載しております。

また、7 月 10 日に、町田市教育委員会第1 回協議会において、教育委員の皆様からもご意見をいただいております。

なお、今回の報告書は、「町田市教育プラン 2019－2023」の計画の最終年度として、施策の成果指標の最終結果をまとめたものを47 ページから57 ページに掲載しております。

それでは、この点検評価の報告書の内容のご説明です。時間の都合もございまして、主な事業を抜粋してご説明いたします。

まず初めに、21 ページ、「食育の推進」では、朝食レシピコンテストを実施し、受賞作品を市庁舎1 階イベントスタジオで展示したり、小学校において応募されたレシピをアレンジし、昼食に提供したりと、食育について広く発信することができました。また、農業振興課や町田市農業協同組合と連携をとり、地場農産物を学校に提供する生産者をふやすとともに、地場野菜の使用量が少ない学校に対して、生産者を紹介するなどの地場農産物の利用促進を図る取り組みにより、地場農産物使用量が15.2%となり、計画以上に目標値を達成することができました。このようなことから、本事業の達成状況をAとしております。

次に、23 ページの「教育センターの機能拡充」では、小学校及び中学校科学教育センターの講座において、高等専門学校、大学、民間企業等と連携し、STEAM 教育の視点を取り入れた講座を実施することができました。また、教育支援センターの機能拡充については、これまでの民間事業者を活用した小集団及び個別指導の指導体制を充実させています。さらに、教育支援センター別室として、教育センター内にフリースペースを開室し、教育支援センターに安定して通室することが難しい児童・生徒に対し、心理職が対応し、通室リズムをつくり、少人数でのコミュニケーションを経験することができる場を創出いたしました。また、教育支援センターの分室の設置に向けた準備もあわせて行いました。このようなことから、本事業の達成状況を B としております。

次に、24 ページ、「特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実」では、第 3 期町田市特別支援教育推進計画を策定し、今後 5 年間の特別支援教育を推進する方針を定めるとともに、特別支援学級や特別支援教室を担当する教員の指導力向上に向けて、障がい種別ごとの研修を実施いたしました。また、全ての教員が適切な支援を実施できるように、通常学級向けの「町田市特別支援教育ハンドブック」を作成するなど、教員の指導力の向上や、支援の充実に向けて取り組むことができたため、本事業の達成状況を B としております。

次に、36 ページの「子ども読書活動の推進」では、英語図書の活用や英語多読の周知のため、英語多読講演会を 2 回開催したほかに、保護者向け英語絵本の読み聞かせ講演会を開催いたしました。また、外国語児童書の充実に向けて、ふるさと納税を活用したことにより、外国語の絵本・児童書の蔵書数が約 8,000 冊となり、目標を大きく上回りました。さらに、2023 年 9 月に市内全ての公立小・中学校の児童・生徒へ電子書籍サービスの利用 ID 付与を行ったところ、児童・生徒の ID から 6 万 5,514 点の貸し出しがあるなど、積極的に活用されました。このようなことから、本事業の達成状況を A としております。

最後に、40 ページの「『文学の扉』事業の推進」では、生誕 100 年を迎えた遠藤周作展や、子ども向けの絵本原画展、手紙文化に注目した展覧会など、多角的な視点で文学や言葉を取り上げた展覧会を実施し、2 万 2,902 人という多くの来館者を迎えることができました。観覧者にアンケートを実施した結果、展覧会を通じて新たな興味を喚起された来館者の割合が 95.6% と目標値を超えることができました。また、若年層に人気のある作家や講師を積極的に取り上げ、若い世代を対象とした事業を 4 事業実施いたしました。

さらに、「ことばらんどショートショートコンクール」においては、昨年度の応募数を上回る 1,002 篇の応募がありました。また、コンクールと連動した事業として、関連動画 2 件を公開するほか、出張授業を 13 回、出張展示を 2 回行い、コンクールの P R と普及に努めました。このようなことから、本事業の達成状況を A としております。

47 ページから 57 ページにつきましては、施策の成果指標の最終結果及び 5 年間の総評を記載しております。記載内容としましては、施策ごとに設定している成果指標に対して、計画策定当初の値である現状値、5 年間の到達目標である目標値、それから 2023 年度の値を最終結果として掲載しております。また、施策にひもづく各重点事業について、5 年間の評価結果を示しております。さらに、施策の総評として、成果指標や関係する重点事業での取り組み内容などを関連づけて記述しております。

説明は以上となります。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了します。

お諮りします。議案第 13 号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、日程第 3、報告事項に入ります。

まず、報告事項(1)について、担当者から報告させていただきます。

○学務課長 報告事項(1)「町田市就学援助費支給要綱及び町田市就学奨励費支給要綱の一部改正について」でございます。

本件は、2024 年 6 月に実施した就学援助費支給要綱及び就学奨励費支給要綱の一部改正についてご報告するものです。

1 「改正内容」についてですが、5 点あります。

(1)「中学校全員給食実施に伴う規定整備について」ですが、2024 年 9 月から中学校全員給食が始まります。これに伴い、給食費が公会計化されることから、就学援助費・奨励費の支給について、この図にあるとおり、保護者が給食費を納める必要がない公金振替処理ができるよう改正を行うものです。

(2)「体育実技用具費を賃借した場合の規定整備について」ですが、柔道着などの体

育実技用具については、昨今レンタルによる使用が増加しております。そのため、レンタルの場合の支給回数の上限を年1回と定めるものでございます。

(3)「入学準備金の支給額増額について」ですが、小学校の入学準備金の支給額を5万4,060円から5万7,060円に増額するものでございます。

次、(4)「入学準備金返還の廃止について」ですが、現在、入学準備金の入学前支給を受給された方が、入学前に市外転出された場合は返還を求めています。他市では返還を求めず、転出先の自治体に、支給した旨を通知する取り扱いが一般的でございます。そのため、町田市でも同様の取り扱いに改めるものです。

(5)「就学奨励費の支給に係る認定基準に関する規定整備について」ですが、就学奨励費の認定に当たっては、世帯所得が生活保護基準の額を超えているか否かの審査を行っております。その基準となる生活保護基準の額は、随時見直しが行われていますが、これまで就学奨励費の認定に当たっては、第68次の生活保護基準で行うよう国が基準を定めておりました。今般、国が第79次の生活保護基準で認定を行うよう基準を改めましたが、町田市では、国が進めている自治体システムの標準化を2025年度に控えているため、現段階での支給システムの改修は難しいことから、引き続き第68次の生活保護基準で認定を行います。そのための要綱改正を行うものでございます。

次ページ以降は、要綱の新旧対照表により、改正箇所を明示したものでございます。

説明は以上です。

○**教育長** ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(4)について、担当者からご報告いたします。

○**生涯学習センター長** 報告事項(4)「『2024年度生涯学習センターまつり』の開催について」、ご説明いたします。

生涯学習センターでは、活動している団体の皆さんに日ごろの活動の成果を発表できる機会として、また、生涯学習センターを利用したことがない市民の方に同センターを身近に感じてもらう機会として、生涯学習センターまつりを毎年開催しています。

2024年度は10月から生涯学習センターが大規模改修に伴って休館するため、時期を1カ月早めて開催いたします。

開催期間は9月22日と23日です。運営主体は公募委員による企画・運営委員会と参

加団体代表による実行委員会です。実施内容ですが、今年度は 40 団体が発表、展示、ワークショップなどで活動発表を行います。

報告は以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の公開での議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

休憩いたします。

午前 11 時 36 分休憩

午前 11 時 37 分再開

○教育長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○教育長 以上で町田市教育委員会第 5 回定例会を閉会いたします。

午前 11 時 40 分閉会